

# 令和6年度 第1回 進路説明会

- 1 様々な進路選択
- 2 昨年度の本校の進路実績
- 3 都立高校入試
- 4 私立高校入試
- 5 就職
- 6 助成金・奨学金
- 7 進路選択に向けた心構え
- 8 今後のスケジュール
- 9 質疑・応答

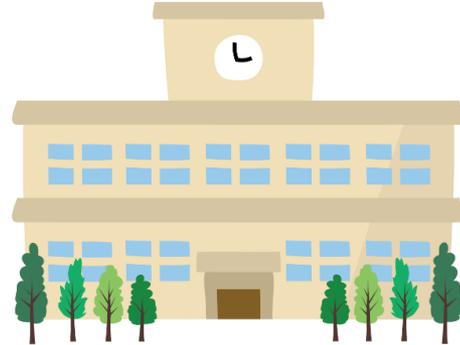
令和6年5月31日 江戸川区立松江第一中学校

1 様々な進路選択

# 中学校卒業後の選択肢

## ◆進学

- ①高等学校
- ②高等専門学校
- ③高等専修学校
- ④サポート校（広域通信制高校）
- ⑤東京都職業能力開発センター



## ◆就職

- ①縁故就職
- ②ハローワークで就職活動



# ◆進学

## ①高等学校

- ・全日制は3年間、定時制は原則4年間で卒業

- ・様々な学科、コース等がある

  - 学科によって卒業後の進路の選択肢が変わる

- ・都立と私立で特色、費用などが大きく異なる

- ・進学先として選ぶ生徒の人数が最も多い

(98.8% ※令和元年高等学校教育の現状調査)

  - ◇ 都立高校 186校

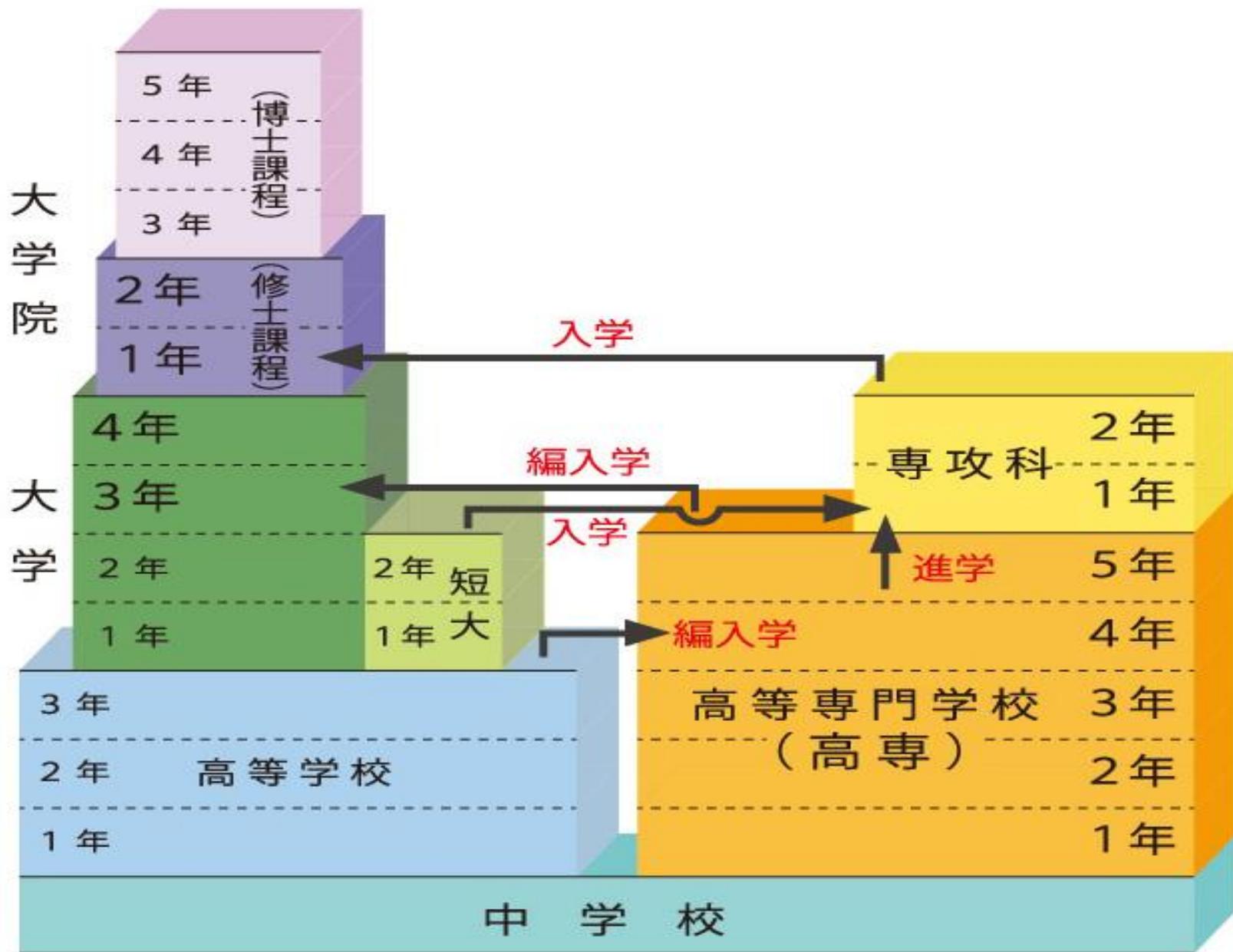
  - ◇ 私立高校 232校

  - ◇ 国立高校 7校 ※令和6年度現在

## ②高等専門学校

- ・いわゆる「高専」
- ・入学後5年で卒業
- ・卒業後は次の進路へ選択できる
  - 「専攻科(2年間)」へ進学
  - 大学(3年次)へ編入
  - 就職
- ・工学系やPC系の専門分野を学習、実験・実習を重視
- ・「ロボットコンテスト」「プログラミングコンテスト」等を全国開催
- ・都内に3校
  - ◇ 産業技術高等専門学校(都立)
  - ◇ 東京工業高等専門学校(国立)
  - ◇ サレジオ工業高等専門学校(私立)



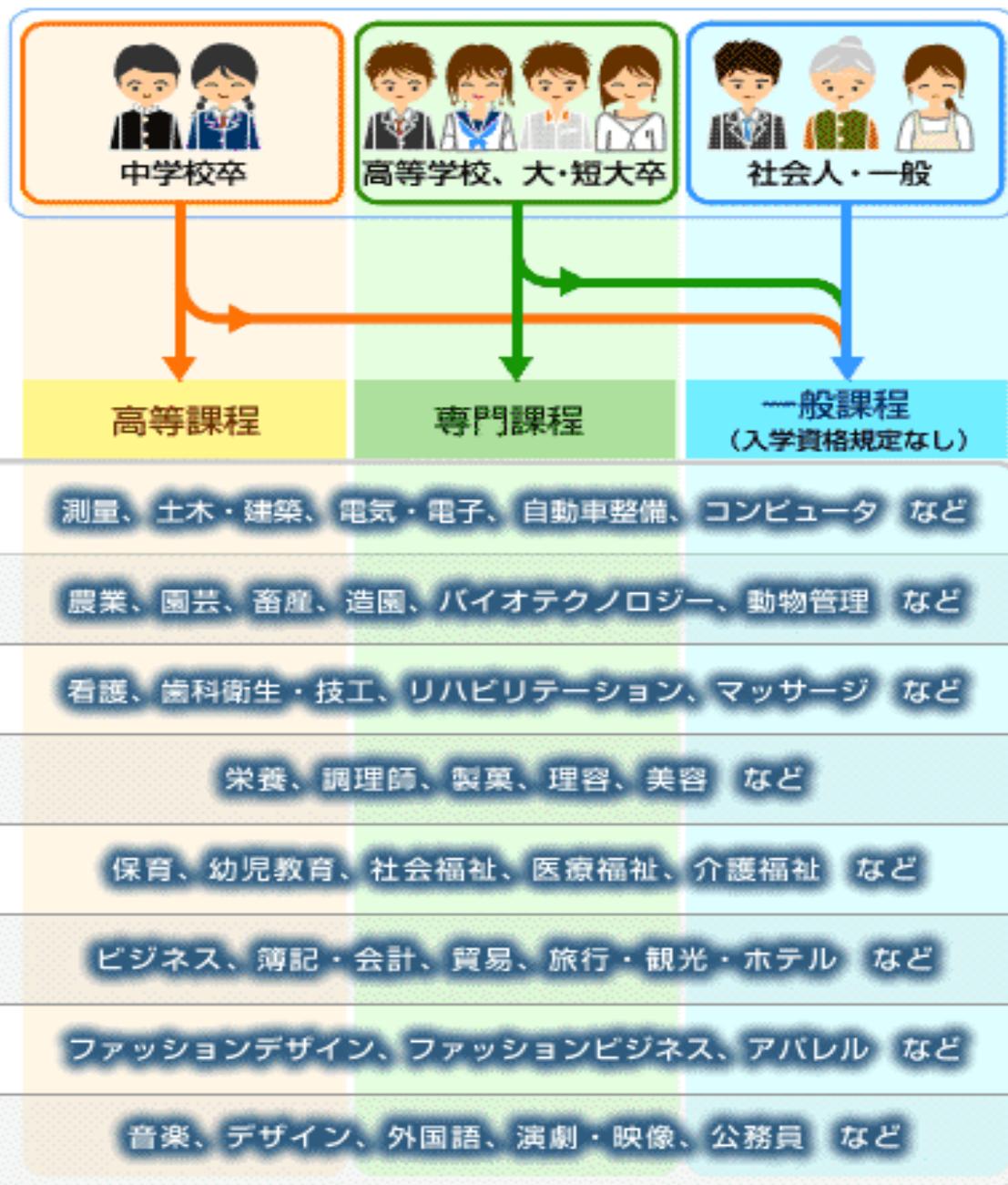


高専の位置づけ・卒業後の進学

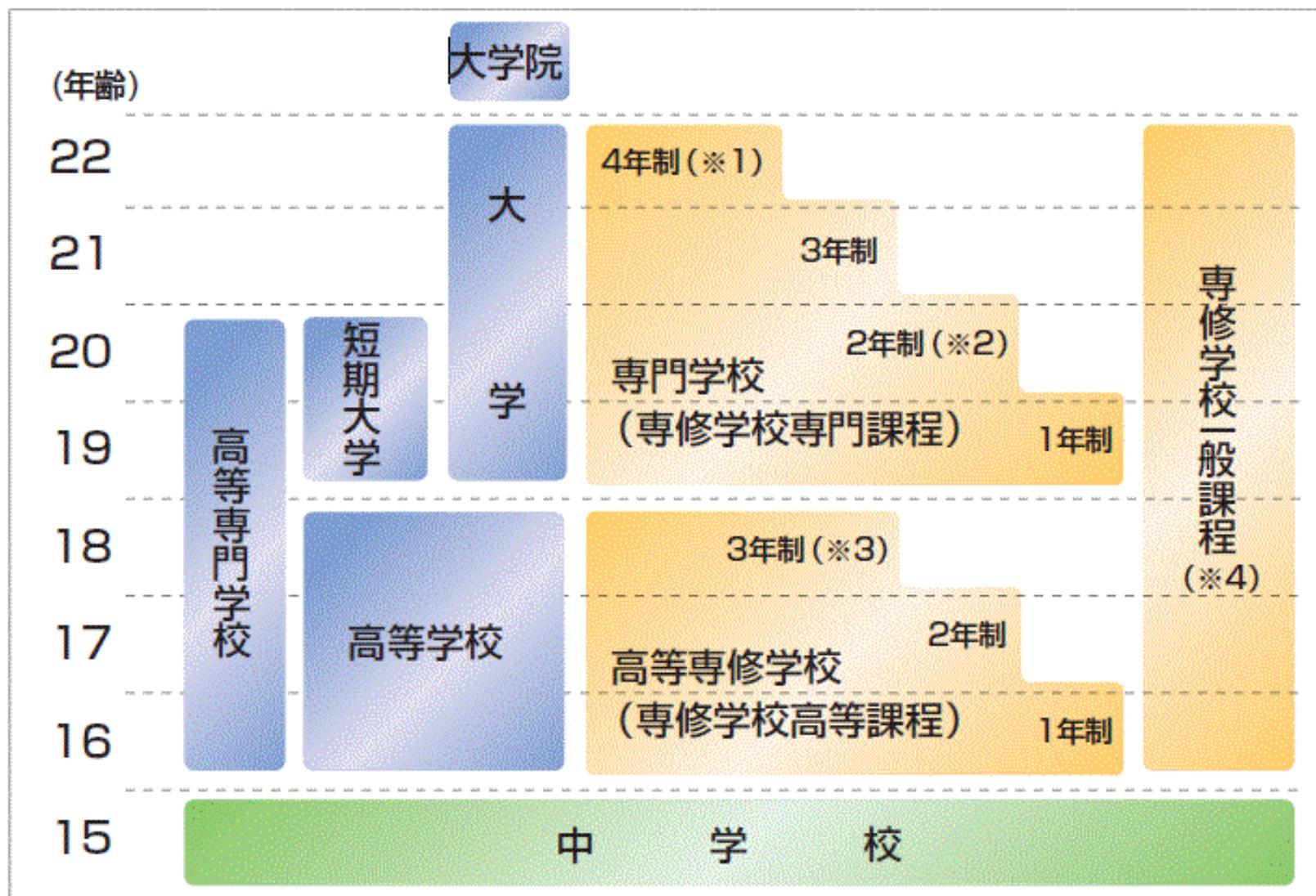
### ③高等専修学校（専修学校の高等課程）

- ・いわゆる「専門学校」
- ・修業年限1年以上（高卒資格は取得できない）
- ・3年以上の高等課程のうち、授業時数などの要件を満たす、文部科学大臣が指定する課程（※大学資格付与指定校）を修了した場合「大学への入学資格」が与えられる
- ・通信制高校とあわせて入学し、卒業と同時に「高校卒業資格」を取得できる「技能連携校制度」をとる学校もある
- ・専門的な知識や技術を修得し、卒業と同時に国家資格が得られる学校もある。
- ・3年制の場合、卒業後に「専門課程」に進むことができる

# 専修学校 3つの課程と 8つの分野



# 専修学校制度の位置づけ



## ④通信制高校

- ・自学自習が基本。毎日通学することなく、時間の使い方を選ぶことができる。
- ・レポート、テスト、スクーリング（年に数回、各学校が指定する会場で授業を受けること）により、卒業を目指す。

## ⑤通信制高校サポート校

- ・通信制高校と提携し、その学校の卒業に向けて学習や生活をサポートしてくれる学校。
  - ・習熟度に応じて授業の進度を調整するなど、生徒個人にきめ細かく対応しているところが多い
  - ・3年間で通信制高校を卒業できるよう、学習の計画を立てたり、サポート校への通学スタイルを決めたりしている。
- ◇ 学費等の例:週5回登校の場合 初年度 約80万円程度

## ⑥東京都職業能力開発センター

- いわゆる「職業訓練校」
- 職業に必要な知識・技能を身につけ希望の企業に就職することを目的としている。高卒資格は取得できない
- 機械、建築・造園、塗装・印刷など多様な科目を用意している
- 多くの科目が、高等学校卒業程度の基礎学力がある者を対象としている
- 「技能士補」「第二種電気工事士」などの資格を取得できる
- 普通課程の授業料は、年額118,800円

# 2 昨年度の本校の 進路実績

## 2 昨年度の本校の進路実績（R6.5.1 現在）

種類	公立高校 (都外含む)	私立高校	その他の 学校	就職 未定
人数	136名	77名	2名	2名

※進学先一覧は別紙参照

# 3 都立高校入試

# ◆都立高校の特徴



## ○多様な学科

- ◇ 普通 ◇ 農業 ◇ 工業 ◇ 科学技術 ◇ ビジネス・商業
- ◇ 理数科
- ◇ ビジネスコミュニケーション ◇ 情報 ◇ 産業 ◇ 海洋国際
- ◇ 家庭 ◇ 福祉 ◇ 理数 ◇ 芸術 ◇ 体育 ◇ 国際
- ◇ 総合

## ○多様なタイプ

- ◇ インカレッジスクール
- ◇ チャレンジスクール
- ◇ 昼夜間定時制
- ◇ 中高一貫教育校
- ◇ 進学指導重点校
- ◇ 進学指導推進校
- ◇ 理数アカデミー
- ◇ 英語教育推進校
- ◇ スキルアップ推進校
- ◇ ビジネス人材育成推進校 など



## ○私立高校と比べ、3年間にかかる費用が安い



## ◆都立高校入試の特徴

- ・『推薦に基づく選抜』（いわゆる推薦受検）と『学力検査に基づく選抜』（いわゆる一般受検）がある
- ・中学校の成績「評定」を「調査書点」として選考に用いる（一部例外を除く）
- ・原則、都内在住の生徒のみ受検できる
- ・1つの選抜につき、1つの学校にしか出願できない
- ・受検費用

全日制：入学考査料2200円 入学料5650円

定時制：入学考査料 950円 入学料2100円

## ◆『推薦に基づく選抜①』

- ・『①一般推薦』『②文化・スポーツ推薦』『③理数等特別推薦』があり、②を志願する場合、同じ高校の①にも出願できる
- ・志望する都立高校が第1志望である必要がある
- ・「中学校校長の推薦」が必要
- ・合格したら「必ず」その学校に進学する
- ・「調査書」「個人面接」「小論文」「実技検査」「科学的な取り組みに関するレポート」などで選考を行う
- ・募集人数が少なく、受検倍率が高い
- ・不合格でも、『学力検査に基づく選抜』で受検可能

## ◆『推薦に基づく選抜②』

### 得点合計の例

調査書	個人面接	集団討論	小論文・作文 実技検査
450	200		小論文 250
400	200	なし	作文 200
500	200	なし	実技検査 300

※調査書の満点は、総合成績に対して50%が上限

## ◆『学力検査に基づく選抜』

- 「①第一次募集・分割前期」と  
「②分割後期・第二次募集」がある
- ②はすべての学校が行っているのではなく、はじめから②のために定員を設けている学校か、①で定員に達しなかった学校のみ行っている
- 「調査書」、「学力検査」、「面接」、「実技検査」などで選考を行う
- 学力検査の出題範囲は中学校3年間の学習内容



## ※ 学力検査の特徴

①全日制の第一次募集・分割前期募集は

- ・学力検査が5教科
- ・学力検査と調査書の比率が

「 学力検査 : 調査書 = 7 : 3 」



②実技系4教科の内申点は2倍

③全校で解答用紙にマークシートを採用





# ※昨年度の解答用紙(英語)

## 解答用紙 英語

□部分がマークシート方式により解答する問題です。

マーク上の注意事項

1. 黒または黒の鉛筆(シャープペンシルも可)を使って、○の中を正確に塗りつぶすこと。
2. 答えを塗すときは、きれいに塗して、消しくずを落とさないこと。
3. 決められた欄以外にマークしたり、記入したりしないこと。

良い例	悪い例
</	





# 都立一般受検の総合得点 計算方法(例)

## ①調査書点(300点満点)

国	数	英	社	理	音	美	体	技家	素内申
5	4	5	3	3	3	4	5	3	35

2倍

5教科	実技4教科	換算内申	÷65×300(約4.7倍)
20	30	50	

調査書点  
230

## ②学力検査点(700点満点)

①国	②数	③英	④社	⑤理	合計
65	77	74	61	71	348

×1.4

学力検査点  
487

## ③総合得点

調査書点	+	学力検査点	=	総合得点
230		487		717

スピーキングテスト  
20点満点



令和6年度

東京都立高等学校に  
入学を希望する皆さんへ



東京都教育委員会

※ 写真は昨年度の  
ものです

7月頃に配布  
予定

『令和6年度  
東京都立高等  
学校募集案内』  
は10月頃に  
配布予定

# 中学校英語スピーキングテスト

ESAT-J

English Speaking Achievement Test  
for Junior high school students

## テストの目的（東京都教育委員会）

- ▶ 小・中・高における一貫した英語教育の推進により、生徒の「使える英語力」の育成を目指す。
- ▶ 中学校における学習により身につけた「話すこと」の力を客観的に評価し、中学校と高校における英語指導の充実及び円滑な接続を目指す。

# 令和6年度の実施について

- ▶ 1 実施日 令和6年11月24日(日)  
予備日 令和6年12月15日(日)
- ▶ 2 会場  
都立学校、民間施設(200施設程度)  
(昨年度は都立大江戸高校)

# 実施について②

## ▶ 3 申し込みの流れ

①本日配布の「進路関係書類の作成に向けた 生徒氏名、生年月日、住所の確認について」の記入、提出

②7月上旬より生徒個人にID配布

③各家庭で個人情報登録

→受験に使用する氏名を登録すること。(高や吉など)

氏名は必ず住民票に記載されている本名で登録する。

都立入試の出願の際に正しい字でないと追加の手続きが必要。

→顔写真を撮影します。

※特別措置申請の申し込みは別途申請が必要(9月上旬まで)

④11月中旬に学校より受験票配布

⑤11月24日(日)テスト実施

# 特別措置について

- ▶ 特別な配慮が必要な生徒向けに「特別措置」を設定しています。
- ▶ 複数区分の申請も可能
- ▶ 特別措置を希望する場合には、受験申込の前に措置申請を行います
- ▶ 障害の程度や通常の学習状況を考慮してうえで、必要な措置を選び英語科にご相談ください
- ▶ 視覚関係(点字、弱視、色弱)      聴覚関係
- ▶ きつ音・発話関係      発達障害      その他

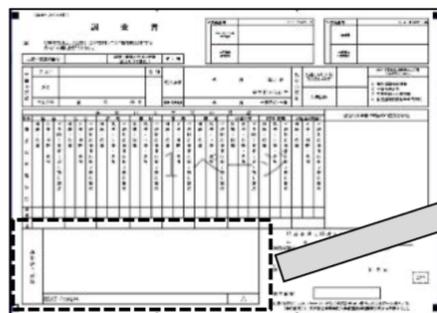
※措置を希望の生徒は実機をもとに仮体験することが可能です。

# 配点と結果の活用

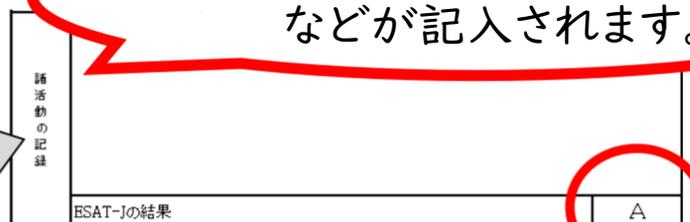
## (1) 中学校からの提出

中学校は、提供を受けた結果を、生徒の調査書に記載する。調査書は、生徒の志願先の都立高等学校へ提出する。

※ 調査書にESAT-Jの結果を記載して提出するのは、第一次募集・分割前期募集以降の選抜とする。



A screenshot of a school form with a dashed box highlighting a section. An arrow points from this section to a larger, detailed view of the form on the right.



諸活動の記録

ESAT-Jの結果	A
-----------	---

諸活動の記録には委員会などが記入されます。

## (2) 評価の点数化

都立高等学校では、AからFまでの6段階で提出された評価を、20点満点（※）の点数として取り扱う。

- A 80～100点
- B 65～79点
- C 50～64点
- D 35～49点
- E 1～34点
- F 0点

A	20点
B	16点
C	12点
D	8点
E	4点
F	0点

## 4 どのように総合得点を算出するの？

How?

学力検査の得点と調査書点の合計にESAT-J結果の点数を加え、総合得点を算出します。

【それぞれが満点だった場合】

学力検査の得点

7 : 3

調査書点

ESAT-J  
結果

※学力検査の得点と調査書点との比は、7 : 3の高校と6 : 4の高校とがあります。

500点  
100点×5教科

65点  
(5教科×5)+(4教科×5×2)

700点 (換算後)

+

300点 (換算後)

+

20点 (調査書に記載) = 1020点

Let's try!

例えば、右のような場合の総合得点を算出してみましょう。

【学力検査の得点と調査書点との比が7 : 3の都立高校の場合】

学力検査の得点						調査書点									ESAT-J 結果	
教科	国語	社会	数学	理科	英語	教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	技家	保体		英語
得点	82	95	76	72	86	評定	4	5	4	4	4	3	3	4	4	B

○ 学力検査の得点 (換算後) :  $(82+95+76+72+86) \times 700 \div 500 = 575$

○ 調査書点 (換算後) :  $(4+5+4+4+4) + (4+3+3+4) \times 2 = 49$

$49 \times 300 \div 65 = 226$

○ ESAT-J結果 : B ⇒ 16点

○ **総合得点** : 575点 + 226点 + 16点 = **817点**

※小数点以下は切り捨てます。



# やむを得ない理由で受験できなかった場合 不受験者として扱われます。(R4年度の場合)

英語学力検査の順位	英語学力検査の得点	ESAT-J結果
36	78	A
37	76	B
38	75	A
38	75	B
38	75	A
38	75	B
38	75	C
38	75	不受験者
38	75	A
38	75	B
38	75	B
38	75	B
38	75	C
49	74	B

英語学力検査の得点で順位を決め、不受験者と英語学力検査の得点と同じ者のESAT-J結果をそれぞれ点数化し、その平均値により、不受験者の「仮のESAT-J結果」を求めます。

その際、平均値が18点以上はA、14点以上18点未満はB、10点以上14点未満はC、6点以上10点未満はD、2点以上6点未満はE、2点未満はFとします。

左の表では、英語の学力検査の得点と同じ者のESAT-J結果はAが3名、Bが5名、Cが2名であり、平均値は16.4点となるため、不受験者の「仮のESAT-J結果」はBになります。

詳しくは、「東京都教育委員会ホームページ  
(令和4年5月26日)報道発表資料」を  
確認してください。



# テスト実施方法

## 昨年度の実施日程

- ・テスト時間は65分間
- ・各会場は前半・後半に分かれて実施

時刻（時間）	生徒	
12:15-13:00	会場到着・受験教室入室	
13:00-14:05	前半試験実施組	後半試験実施組
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受験者情報の登録</li> <li>・機器の装着準備</li> <li>・音声・録音確認</li> <li>・スピーキングテスト(実施時間:15分程度)</li> </ul>	待機
14:05-14:25	教室待機	休憩（トイレ）
14:25-15:30	休憩（トイレ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受験者情報の登録</li> <li>・機器の装着準備</li> <li>・音声・録音確認</li> <li>・スピーキングテスト(実施時間:15分程度)</li> </ul>
	待機	
15:30-15:40	机と椅子の除菌・退出（前半・後半共通）	
15:40	解散予定	

# 実施方法②

## Part A～Dの4部構成

### □ Part A（2問）

50語程度で書かれた英文を音読する。

### □ Part B（4問）

広告、ウェブサイト、天気予報、商品説明などを表すイラストを見て、設定された場面を理解し、質問に対する答えを話す。

### □ Part C

4コマ漫画を見て、各場面を英語で説明する。

### □ Part D

60語程度で書かれた英文を黙読し、質問に対する自分の考えと理由を話す。

# 学習方法

▶ ● 過去問、採点基準



▶ ● 「話すこと」トレーニング



ご不明な点は英語科、担任まで。

# 4 私立高校入試

## ◆私立高校の特徴

- 学校ごとに校風や教育方針などに独自性をもつ
- 受験校の地域等に制約がない
- 男女別学の学校がある
- R3子供の学習費調査では高校の学校教育費が  
公立:95万円 私立225万円(全国平均)
- 大学までの一貫教育を行っている学校がある
- 出願、選考方法、合格基準などを学校独自に設定





# 松江第一中周辺の私立高校(女子)



## ◆私立高校入試の特徴

- 都内私立では、『推薦入試』と『一般入試』があり、『併願優遇を利用した一般入試』を行っている学校が多い。
- 『推薦入試』と『併願優遇入試』は、高校の定める条件を満たさなければ受験できない。中学校の「評定」を「選考の基準」として用いる学校がある
- 『一般入試』は複数の学校を受験することができる
- 一般的に都立高校よりも受験日程が早い

## ◆『推薦入試』を受験するための条件

- 受験する私立高校が第一志望である
- 「中学校長の推薦」
- 合格したら「必ず」その学校に進学する
- 各私立高校が定めている「推薦基準」を満たす
- 中学校と私立高校が「入試相談」を行う
- **家庭と私立高校**が事前に**「個別相談」**を行う

※受験する可能性のある私立高校とは、

必ず「個別相談」を行っておきましょう!!

## ◆『併願優遇を利用した一般入試』とは

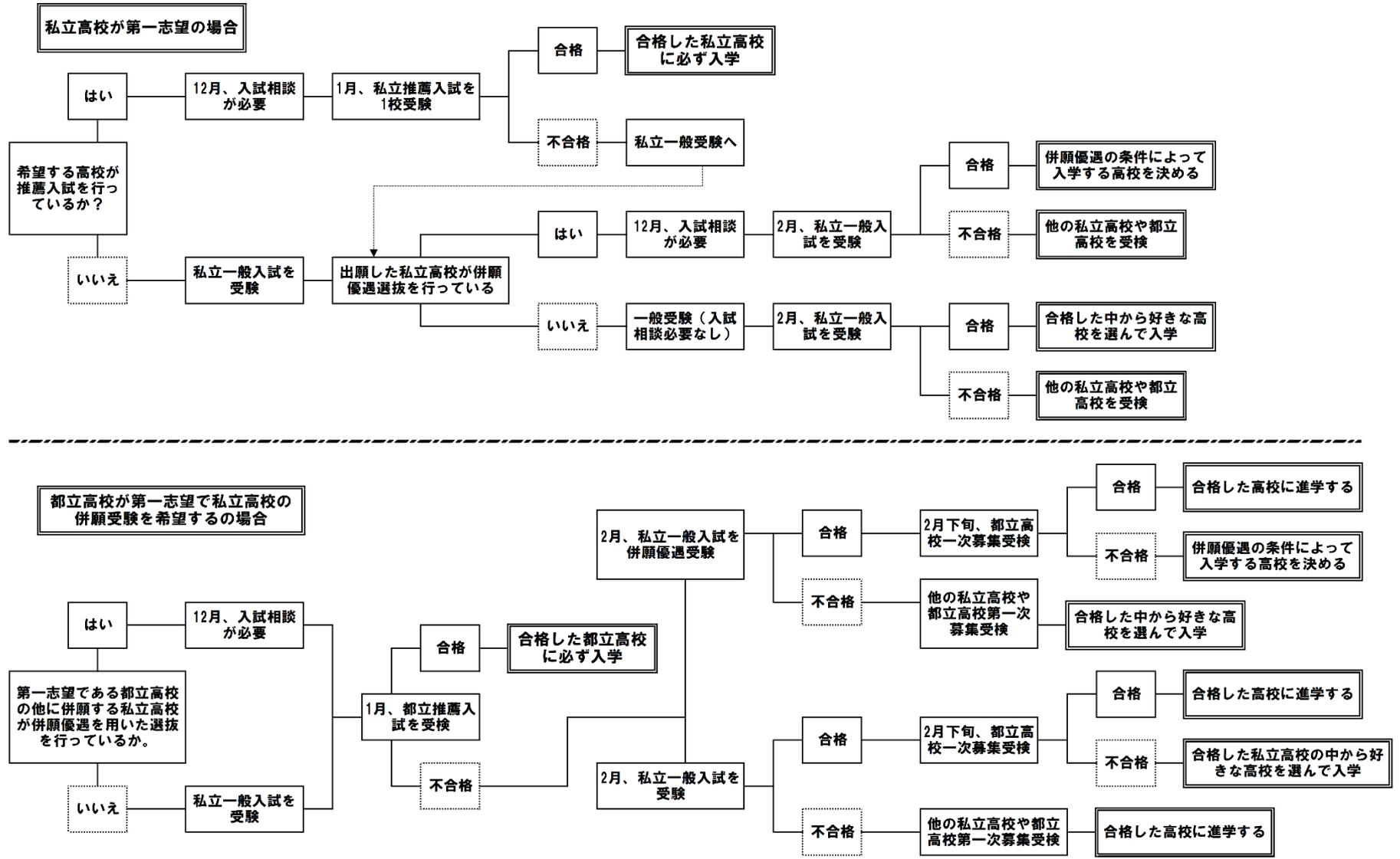
- 公立高校（一般受検）と併願する場合などに利用できる
- 定めている基準を満たしている生徒に対して加点などの優遇を行う場合がある
- 併願優遇を利用して合格した場合に、都立入試の結果発表日まで入学金納付を延長できる
- 不合格となることがある
- 中学校と私立高校が「入試相談」を行う
- 親子での「個別相談」がない場合は利用できない

※個別相談を必要としない学校があります。

## ◆私立高校の『個別相談』

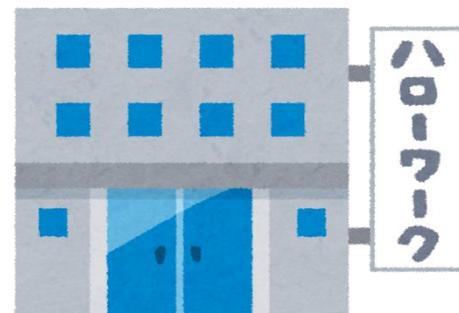
- 7月～11月の期間で実施
- 「学校説明会」や「学校公開」と一緒に行う  
高校が多い
- 1学期または2年3学期の評定や出欠席の  
記録などを基に、私立高校の定めた条件を  
満たしているかを親子で相談する。

# ◆ 都内高校受験のしくみ(例)



# 5 就職について

## ◆就職



### ①縁故就職

就職の意思や就職先について確認

### ②ハローワーク

ハローワークを通して就職先を紹介。本人の職業適性を見極めながら就職活動をすすめる。

※令和5年度のハローワークを通じた就職内定率は86.3%

# 6 助成金・奨学金

学びたいキミを応援します。

大切なお知らせです。  
必ず保護者に渡してください

みんなに知ってほしい

## 高校生への2つの支援

返還不要の支援です。それぞれ申込みが必要です。

### ① 高等学校等就学支援金

国の授業料支援のしくみです。

■ 年収約910万円未満の世帯が対象

学校種：高等学校、特別支援学校（高等部）、高等専門学校（1～3年生）、専修学校（高等課程）など

✎ 申込みは、学校へ **入学時の4月** など手続きが必要な時期に学校から案内があります。

### ② 高校生等奨学給付金

教科書費・教材費など、  
授業料以外の教育費支援のしくみです。

■ 生活保護世帯、年収約270万円未満（住民税所得割非課税）の世帯が対象

学校種：高等学校等就学支援金の対象校と高校の専攻科（特別支援学校は「特別支援教育就学奨励費」の支援があります）

✎ 申込みは、学校またはお住まいの都道府県へ  
**毎年7月頃**に手続きが必要です。詳しくは学校またはお住まいの都道府県にお問合せください。

都道府県のお問合せ先



[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/mushouka/detail/1353842.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/detail/1353842.htm)

☰ **新入生**は、4～6月に一部早期支給の申請ができます。

都道府県によって実施状況が異なります。

参考：保護者等の年収目安と支給額（令和5年度）

☒ 両方利用できます！

保護者等の年収目安	約270万円未満	約270～590万円	約590～910万円	約910万円以上
①高等学校等就学支援金	国公立：約12万円			
	私立：約40万円	私立：約12万円		
②高校生等奨学給付金	約3～15万円			

## ◆種別

- 学校に支払われ、授業料に充てられるもの
- 家庭に給付され、授業料以外の教育費（学用品費、教科外活動費、PTA会費、修学旅行費など）の負担を軽減するもの
- 奨学生本人に貸与（利子あり、なし）されるもの

など

# ◆ 支援団体

- 文部科学省
- 東京都教育委員会  
(東京学校支援機構)
- 東京都私学財団
- 日本学生支援機構

など

高校入学後申請手続き。  
早いものは4月から手続き  
が始まります。

私立高校(全日制・定時制)  
令和6年度

生徒・保護者のみなさまへ

## 申請により授業料の負担が軽減されます



授業料負担軽減額は

①国の就学支援金  
②東京都の授業料軽減助成金(都民対象)

合わせて最大で **48万4,000円**

- ①と②の内訳は、申請者の所得により、異なります。
- 区分Aに該当する場合は②のみ、区分B・Cに該当する場合は①と②それぞれ別に申請が必要です。
- どの区分に該当するかを判別するため、全ての申請者について所得の確認が必要となります。

区分	所得のある保護者が1人	所得のある保護者が2人以上	授業料の負担軽減(年484,000円まで※)	
A	約910万円以上	約1,090万円以上	②部の授業料軽減助成金 6-7月中 484,000円	それぞれ別に申請が必要
	約1,090万円未満	約740万円以上	①国の就学支援金 4月-7月中 118,800円	②部の授業料軽減助成金 6-7月中 365,200円
B	約590万円以上	約740万円以上	①国の就学支援金 4月-7月中 396,000円	②部の授業料軽減助成金 6-7月中 88,000円
C	約590万円未満	約740万円未満	①国の就学支援金 4月-7月中 396,000円	②部の授業料軽減助成金 6-7月中 88,000円

授業料の負担軽減額は、484,000円の範囲内で、在学級の授業料額(保護者が負担した金額)が上限です。年収目安は、保護者1人へのみ給与収入がある4人世帯(夫婦と子2人)及び保護者2人に給与収入がある5人世帯(夫婦と子3人)をモデルとした場合です。年収は目安であり、区市町村住民税課税標準額等に基づき審査を行います。

# 令和6年度より

- ・国の就学支援金

- ・東京都の

## 授業料軽減助成金

は所得制限がなくなりました。

各ご家庭の所得がある保護者の人数、所得の合計によって申請先が変わりますが、最大484,000円補助されます。

私立高校(全日制・定時制)

生徒・保護者のみなさまへ

令和6年度

### 申請により授業料の負担が軽減されます



授業料負担軽減額は

- ①国の就学支援金
  - ②東京都の授業料軽減助成金(都民対象)
- 合わせて最大で **48万4,000円**

- ①と②の内訳は、申請者の所得により、異なります。
- 区分Aに該当する場合は②のみ、区分B・Cに該当する場合は①と②それぞれ別に申請が必要です。
- どの区分に該当するかを判別するため、全ての申請者について所得の確認が必要となります。

区分	所得のある保護者が1人	所得のある保護者が2人	授業料の負担軽減(年484,000円まで※1)	
A	約910万円以上	約1,090万円以上	それぞれ別に申請が必要	②部の授業料軽減助成金 6-7月中 484,000円
B	約910万円未満 約590万円以上	約1,090万円未満 約740万円以上	①国の就学支援金 4月-7月中 118,800円	6-7月中 365,200円
C	約590万円未満	約740万円未満	4月-7月中 396,000円	6-7月中 88,000円

※1 授業料の負担軽減額は、484,000円の範囲内で、在学校の授業料額(保護者が負担した金額)が上限です。  
※2 年収目安は、保護者1人へのみ給与収入がある4人世帯(夫婦と子2人)及び保護者2人に給与収入がある5人世帯(夫婦と子3人)をモデルとした場合です。  
年収は目安であり、区市町村住民税課税標準額等に基づき審査を行います。

公益財団法人  
東京都私学財団

令和6年度版です。令和7年度以降は変更となる場合があります。

## ※注意事項

- 「R7入学の新生だけが受けられるもの」や、「高校在学途中でも受けられるもの」、「家庭状況が急変したご家庭が受けられるもの」など、形態は様々あります。
- 所得制限がある場合があります。
- 同時には申請できないものがあります。
- 全日制や定時制、通信制などの課程によって支給額が異なるものがあります。(都外私立の場合など)
- 各ご家庭で申請する必要があります。

# 7 進路選択に向けた 心構え

## ◆大切にしてほしいこと

- ①どんな未来を生きていきたいのかを考える
  - ・自分の『将来』を見通す
- ②何をやりたくて、何をやりたくないのかを考える
  - ・自分の『適正』を見つめる
- ③家庭で十分な話し合いをする
  - ・進路は自分で切り拓いていかなければならないが、家族の支援が絶対に必要
- ④人と比較しない、流されない
  - ・友達はあるあなたの人生に責任をとれない

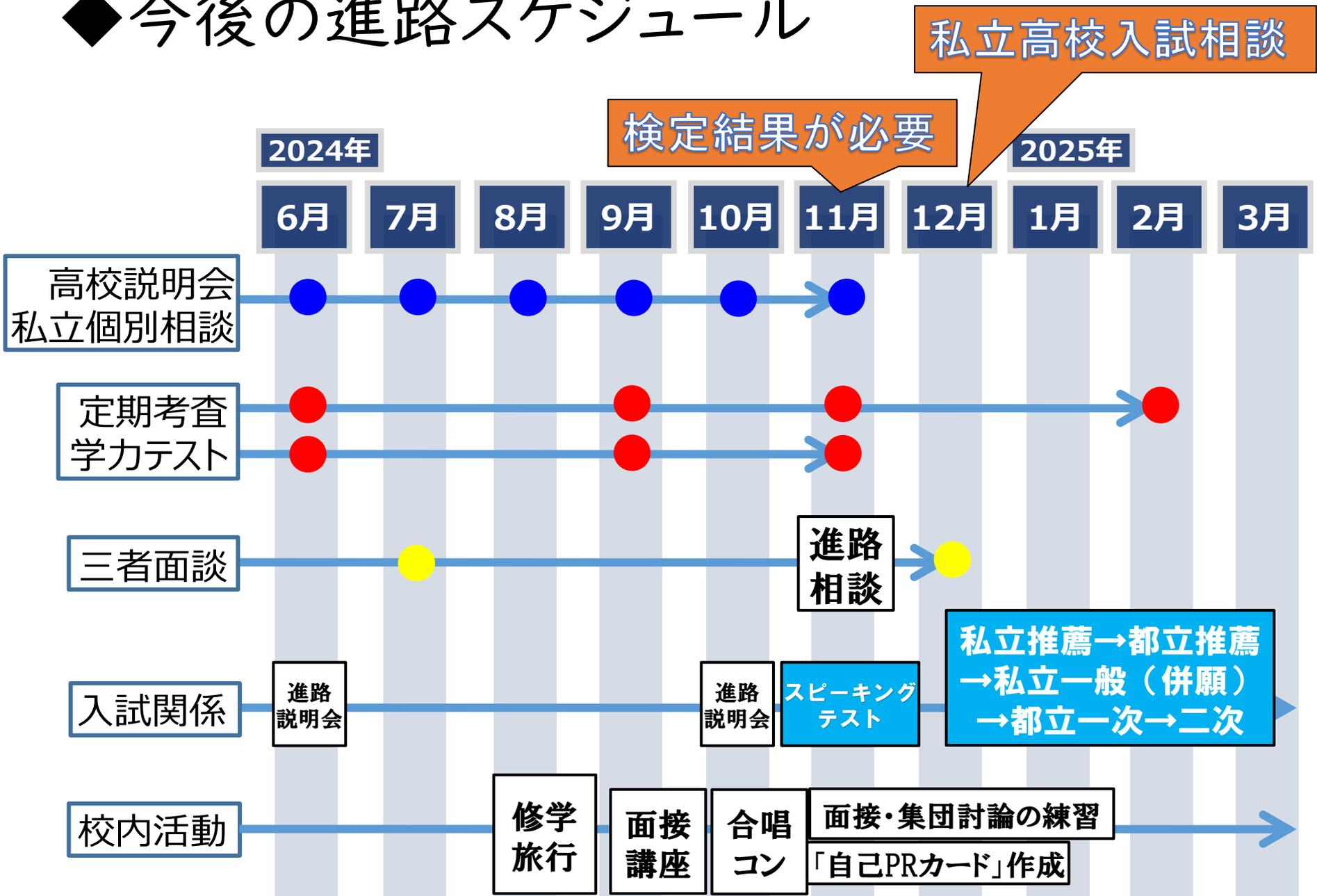
# ◆ 志望校を選ぶポイント（参考）

- ・カリキュラム・授業内容
- ・校風・方針・特色
- ・自分の学力とあっているか
- ・上級学校卒業後の進路
- ・行事・部活動
- ・施設・設備
- ・通学時間
- ・学費

※何を優先するかは人それぞれ

# 8 今後のスケジュール

# ◆今後の進路スケジュール



## ◆学校説明会について

- すでに多くの学校で開催中
- オンライン開催も増加
- 日程が合わない場合、相談により個別対応してくれることも
- 予約制の学校が多い
- 授業公開や体験授業、体育祭などの公開もある
- 一度も直接見ずに受験校を決めるのはNG!

興味のある学校は必ず、「説明会」「見学会」に参加しましょう!!!

# 9 質疑・応答

後日回答させていただくことがございます。

## 第2回 進路説明会10月11日(金)

- ・都立入試の準備から手続きまで
- ・私立「推薦」「併願優遇」に関する確認

本日はお忙しい中、お越しいただき  
ありがとうございました。

保護者の方はお忘れ物のないようにご  
退出ください。